

H30.10.23(火) 平成30年度岩手中部地域県立病院運営協議会

# 遠野病院の現状等について

遠野病院 院長 郷右近 祐司



## 本日お話する内容

- ・病院の基本理念及び運営方針
- ・運営体制について
- ・病院の機能及び特色について
- ・患者数等の状況について
- ・平成29年度の主な取組について
- ・今後の課題・取組について



## 本日お話する内容

- ・病院の基本理念及び運営方針
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



## 基本理念

私たちは地域のニーズに応え、安心・安全で質の高い医療を届けられるよう努力し、優しく患者さんに寄り添い、笑顔のある病院にします。



## 運営方針

私たち遠野病院職員は、”H3Aの意識”をもって、地域医療のために一歩踏み出します。

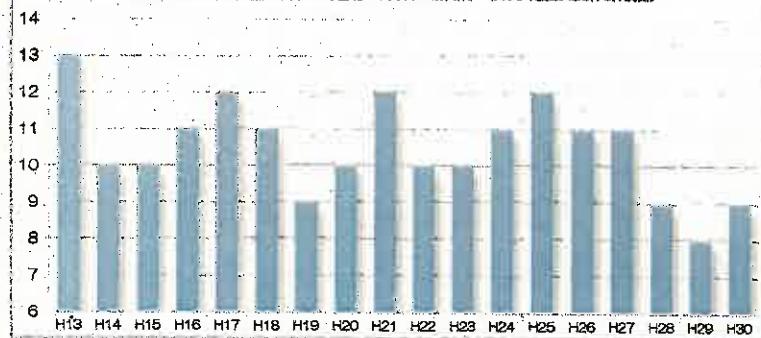
Heart Warming	: 心をこめて
Aggressive	: 積極的に
Active	: 活気がある、活発な
Academic	: 学究的に

## 本日お話する内容

- ・運営体制について
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

## 常勤医師の状況

遠野病院常勤医師数の推移（年度末の現員数）（H30年度はH30.10.1現在）

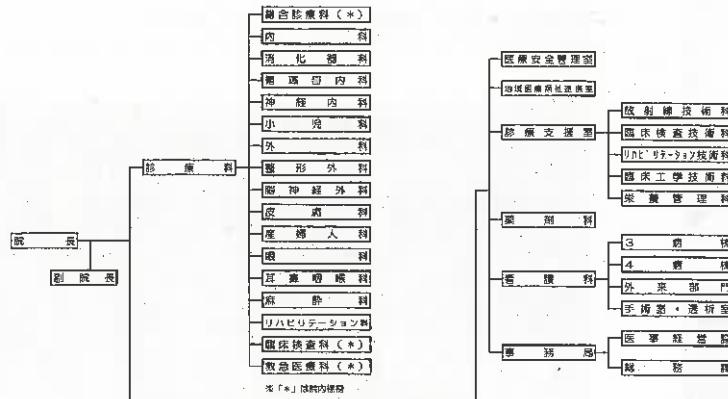


## 職種等別職員数の状況

(H30.10.01現在・常勤職員)

医師	看護師	看護士	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	その他	合計
9	9	5	8	83	6	1							
規範 看護士	理学 療法士	作業 療法士	医療社会 事務士	看護師	その他の 職員								
1	4	1	1	2	26	156							

## 院内の組織体制 (H30.10.01現在)



## 本日お話する内容

- 病院の機能及び特色について

## 病床数及び標榜診療科

- 病床（ベッド）数  
一般 120床 感染 2床 合計 122床
- 標榜診療科（14科）  
内科、消化器科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、リハビリテーション科

## 遠野病院の位置づけ

- 県立病院では「岩手中部医療圏」の中の「地域病院」（基幹病院は「中部病院」）
- 遠野地域における唯一の総合病院であり、地域の総合的な医療機能を担う
- 救急医療から在宅医療まで、地域の特性に対応した機能を担う
- 「大迫地域診療センター」との緊密な連携
  - 医療圏内の対象人口 (H30.4月現在)  
遠野医療圏 約3万人 (遠野市及び花巻市大迫町・住田町の一部)

## 訪問診療及び往診等の実施

- ・「遠野方式在宅ケアシステム」＝S60年から本格始動



## 地域との協働

- ・遠野まつり 御輿参加

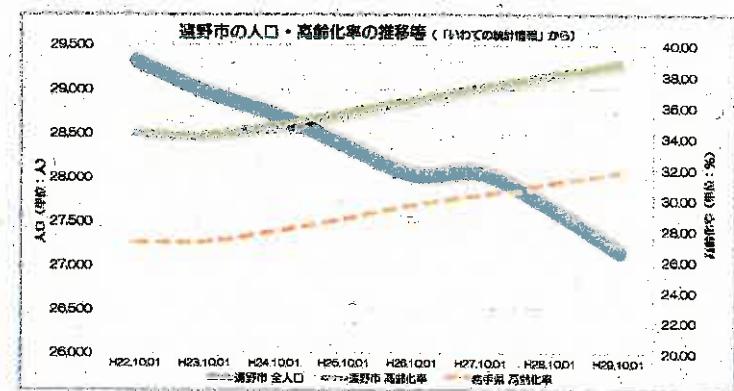


## 本日お話する内容

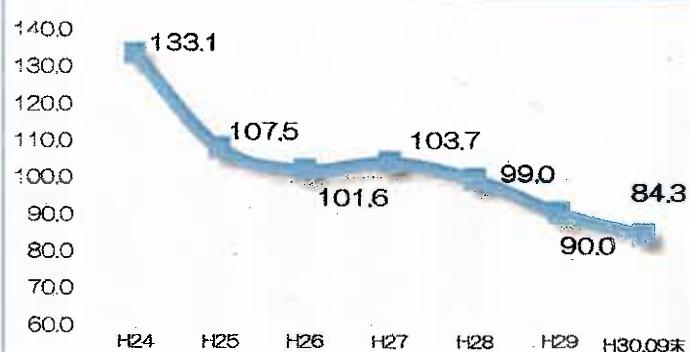
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・患者数等の状況について
- ・
- ・



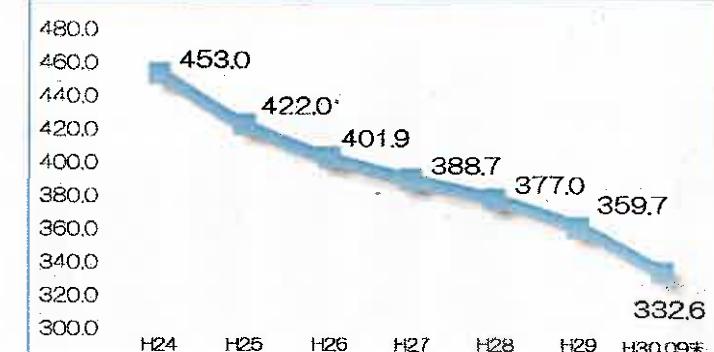
## 遠野市的人口及び高齢化率の推移



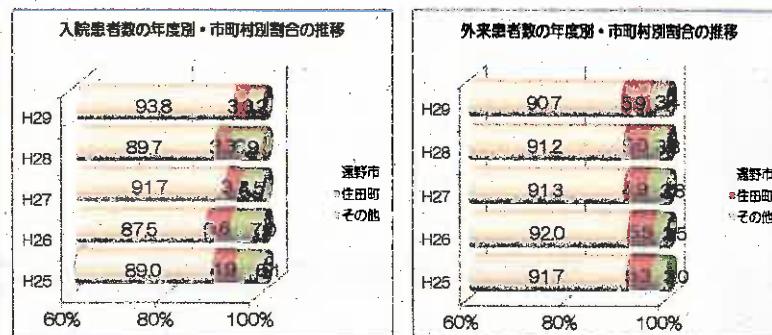
## 一日平均入院患者数の推移 (単位:人)



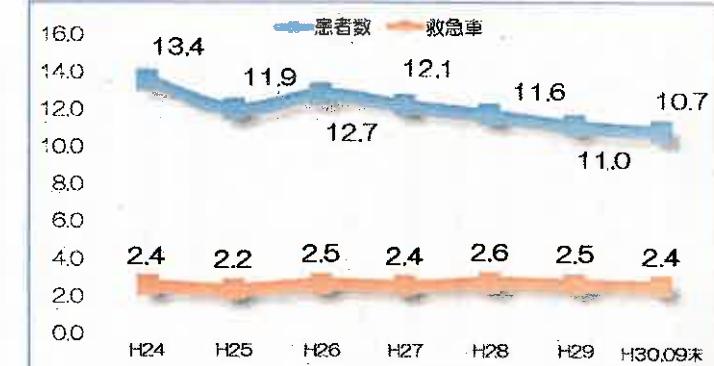
## 一日平均外来患者数の推移 (単位:人)



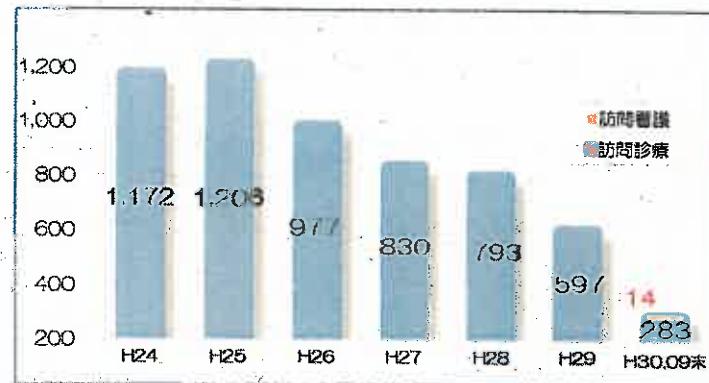
## 市町村別患者利用状況



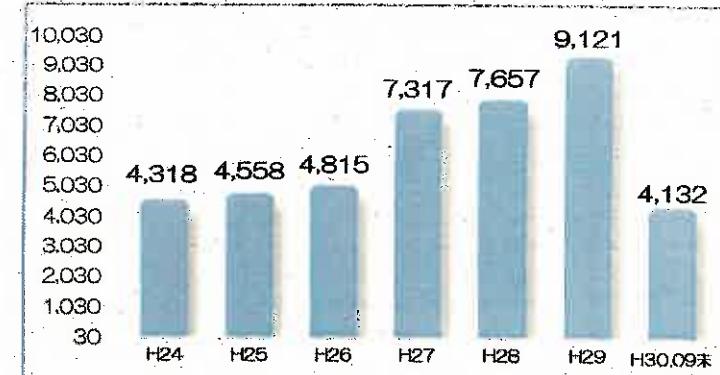
## 一日平均救急患者数等の推移 (単位:人、台)



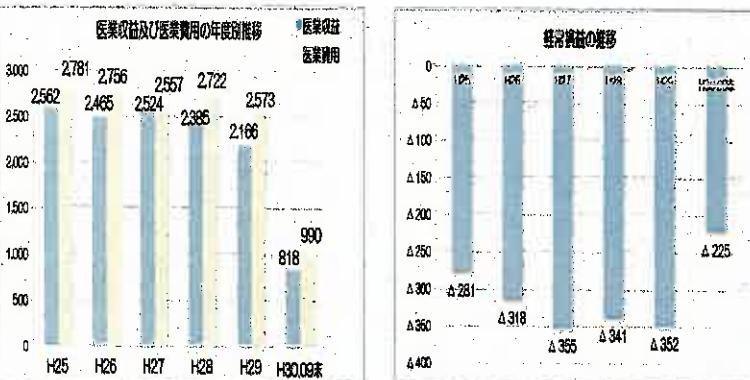
## 訪問診療・訪問看護延べ回数の推移 (単位:回)



## 人工透析延べ回数の推移 (単位:回)



## 収支の状況 (単位:百万円)



## 本日お話する内容

- 平成29年度の主な取組について
- 
- 
- 
- 
-



## 平成29年度の主な取組について



### ・病床数の見直し（病棟再編）

#### ◦目的

一般病床（177床）における平成25年度以降の病床稼働率が50～60%前後で推移しており、1日平均患者数は100人程度となっていた。

入院患者数に応じた病棟再編を実施することにより、看護師等の医療資源を透析患者の受入れ拡大や訪問看護の充実に活用し、地域ニーズにあわせた機能強化を図ろうとしたもの。



## 平成29年度の主な取組について



### ・病床数の見直し（病棟再編）

#### ◦見直しの具体的な内容

##### 病棟数

◦変更前：3病棟（3階病棟、4階病棟及び5階病棟）

◦変更後：2病棟（3階病棟及び4階病棟）

##### 病床数

◦変更前：199床（一般177床、結核20床、感染2床）

◦3階病棟74床（感染2床含む）、4階病棟61床、5階病

棟64床（結核20床含む）

◦変更後：122床（一般120床、感染2床）

◦3階病棟62床（感染2床含む）、4階病棟60床



## 平成29年度の主な取組について



### ・病床数の見直し（病棟再編）

#### ◦病床数（稼働病床数）の変更開始日

平成30年1月1日（月）

◦平成29年11月1日から試行を実施

◦平成30年7月1日付けで許可病床数を変更

#### ◦強化する機能等

◦透析患者の受入れ拡大（拡大に向けて検討中）

◦訪問看護の実施

◦病棟における夜勤体制の強化等



## 平成29年度の主な取組について



### ・院外処方の推進

#### ◦目的

◦調剤待ち時間の短縮、患者さん個々の希望に合わせた調剤方法への対応、服薬指導の充実など、外来患者さんが受けられるサービスの向上などを主な目的として、医療分業の推進に向けた院外処方に係る院外処方せんの原則（全面）発行を行うこととしたもの。

#### ◦院外処方せん原則（全面）発行開始日

平成29年12月1日（木）





## 本日お話する内容



- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・今後の課題・取組について



## 今後の課題・取組について



- ・診療体制の充実（常勤医師の確保等）
- ・電子カルテシステムの導入
- ・地域包括ケア病床の導入
- ・医療福祉連携の強化
- ・地域懇談会の開催（遠野市内全地区）
- ・病院ボランティアの導入



## 今後の課題・取組について



- ・いわて中部ネットの導入
- ・病院Webページのリニューアル
- ・病院事業年報の作成
- ・医療勤務環境改善の推進
- ・病院機能評価の受審

・・・など



ご清聴ありがとうございました





## 市町村別利用状況

### ▶ 入院

- ▶ 花巻市 78.2%
- ▶ 遠野市 16.7%
- ▶ 北上市 3.6%
- ▶ その他 1.5%

### ▶ 外来

- ▶ 花巻市 79.9%
- ▶ 遠野市 18.6%
- ▶ 北上市 0.3%
- ▶ その他 1.2%

## 沿革

- 平成7年9月 新病院開院(一般病床71床)  
医療と保健福祉の連携を目指して  
東和町保健センター、  
老人保健施設「華の苑」と一体整備
- 平成14年10月 日本医療機能評価機構の認定
- 平成15年10月 地域医療研修協力病院指定
- 平成17年10月 電子カルテ稼動開始
- 平成20年8月 病床数68床に変更
- 平成26年4月 「華の苑」が指定管理者制度に移行
- 平成28年5月 地域包括ケア病床10床稼働開始
- 平成29年4月 地域包括ケア病床14床に増床

## 診療体制・診療科

### ▶ 常勤医 5名

- ▶ 70歳 内科
- ▶ 61歳 内科
- ▶ 58歳 内科／外科
- ▶ 56歳 外科／訪問診療
- ▶ 43歳 内科

## 診療応援

- ▶ 呼吸器科 第2第4水曜午後
- ▶ 神経内科 每週火曜日午前
- ▶ 神経内科 第2第4水曜午後
- ▶ 循環器科 月1回火曜日午後
- ▶ 消化器科 月1回 金曜日
- ▶ 月1回 木曜日
- ▶ 泌尿器科 每週月曜日
- ▶ 内科 每週水曜日午後
- ▶ 当直応援 月1回
- ▶ 月3回

- 胆沢病院
- 胆沢病院
- 中部病院
- 中央病院
- 胆沢病院
- 北上済生会病院
- 県外
- 県病OB
- 北上済生会病院
- 岩手医大

## 診療体制

### 2年次研修医地域医療研修

- 岩手県立中央病院(2か月) 30年度4名
- 岩手県立中部病院(1ヶ月) 30年度4名
- 国立国際医療研究センター(6週間) 30年度5名

### 岩手医大学生実習

## 部門別職員数

- ▶ 看護師 43.6名
- ▶ 看護補助 7名
- ▶ 薬剤師 3名
- ▶ 放射線技師 1.8名
- ▶ 検査技師 3名
- ▶ 理学療法士 2名
- ▶ 管理栄養士 1名
- ▶ 事務 7.6名
- ▶ 医療クラーク 3名

## 病床利用率/在院日数/外来患者数

- | 年度     | 病床利用率 | 在院日数 | 外来患者数 |
|--------|-------|------|-------|
| 平成25年度 | 90.2% | 18.8 | 105   |
| 平成26年度 | 84.5  | 21.0 | 106   |
| 平成27年度 | 82.8  | 20.1 | 104   |
| 平成28年度 | 86.9  | 20.0 | 99    |
| 平成29年度 | 82.2  | 21.7 | 95    |

## 地域包括ケア病床利用率

▶ 平成28年度	93.1%
▶ 平成29年度	76.0
▶ 平成30年度	76.0

## 救急患者状況

	救急患者	救急車
▶ 平成25年度	2432名	370件
▶ 平成26年度	2348	376
▶ 平成27年度	2136	376
▶ 平成28年度	1830	332
▶ 平成29年度	2136	320

## 経営収支（千円）

	収益	費用	損益（千円）
▶ 平成25年度	986571	977702	8869
▶ 平成26年度	963187	1329730	-366543
▶ 平成27年度	922955	976119	-53164
▶ 平成28年度	1045995	985885	60110
▶ 平成29年度	916217	977610	-61393

## 東和病院の特徴

- 1: 地域に密着した  
かかりつけ医療機関としての一般診療  
軽症者の救急および入院対応
- 2: 医療連携  
周辺医療機関へ専門外来診療依頼  
軽症入院治療依頼受け入れ
- 重症患者は主として基幹病院に転院搬送  
基幹病院の後方病院として慢性期の入院を  
受け入れ退院調整する

## 東和病院の特徴

### 3: 地域包括ケア ~当院の役割

- ・予防 健診 予防接種 地域懇談会  
健康講演会 救急講習会  
糖尿病教室 高血圧教室
- ・介護 福祉施設等との連携 6施設と協定  
近隣施設から急病時の受け入れ
- ・訪問診療 昨年度72回
- ・地域包括ケア病床14床を利用し  
退院困難な場合の在宅療養環境を整える

## メディカルショートステイ

- ▶ 医療依存度の高い患者の在宅療養を支援
- ▶ 在宅では評価しにくい異常、問題点を早期に発見するための検査や 医療処置・管理を目的とする
- ▶ 対象患者  
中心静脈栄養、膀胱留置カテーテル、人工肛門  
喀痰吸引、褥瘡処置、在宅酸素療法、胃瘻管理
- ▶ 在宅介護者への知識や技術の確認や指導
- ▶ 平成27年度65件
- ▶ 平成28年度84件
- ▶ 平成29年度89件

## 東和病院の運営方針

- ▶ 地域医療構想では回復期機能を担当
- ▶ 軽症救急、サブアキュート、メディカルショート  
包括ケア病床、緩和、看取り等  
患者状況にあわせて、病床を有効活用することで  
地域包括ケアシステムに貢献していきたい

## 東和病院の今後の課題

- ▶ 電子カルテ 2019年機種変更
- ▶ いわて中部ネット 現在未稼働
- ▶ 院内デイケア 2018年開始 認知症・ADL低下  
年内開始
- ▶ 訪問看護 診療力の低下 診療力不足  
今後4年以内に
- ▶ 医師高齢化 東和病院のあり方を検討



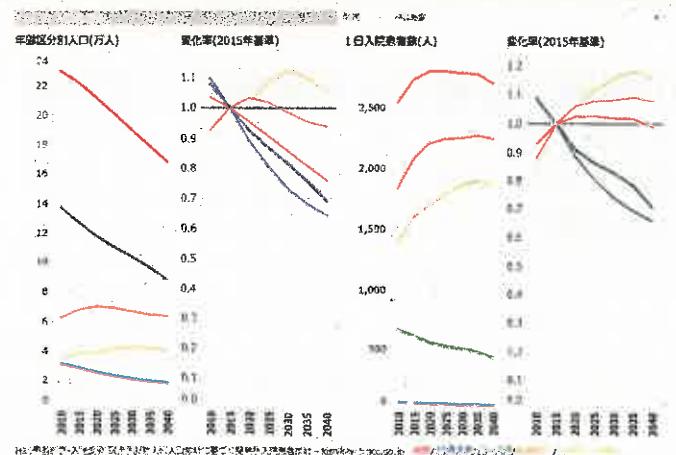
# 岩手県立中部病院

院長 伊藤 達朗

平成30年度  
岩手中部地域県立病院運営協議会

平成30年10月23日

## 岩手中部地域の人口と入院患者数



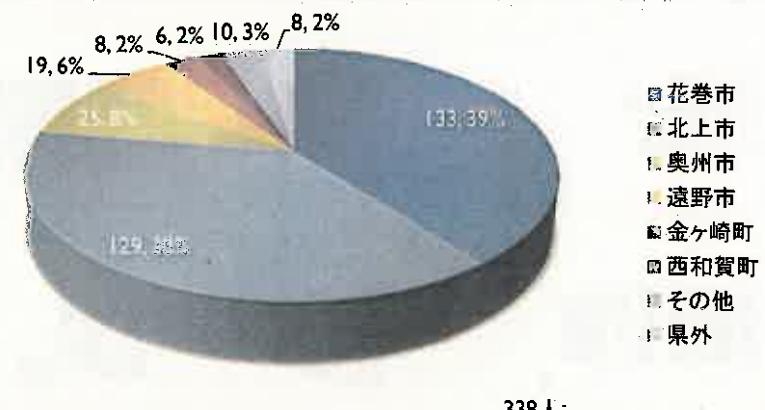
## 当院の課題・・・開院して10年

- ▶ 岩手中部地域の急性期病院として一定程度の働き
- ▶ 病院経営として良好
- ▶ 医師、職員数の増加

- ▶ 医療の質の向上
- ▶ 地域との対話の推進
- ▶ 職場の環境改善
- ▶ 医師の招聘

## 中部病院市町別患者数

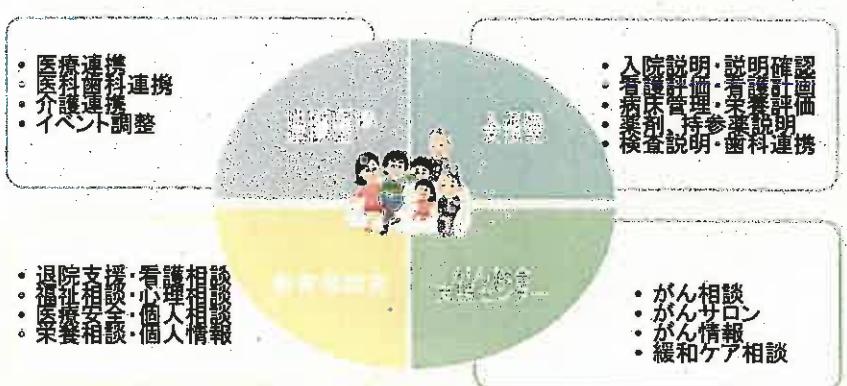
平成29年9月30日



## マネジメントの役割⇒病院の役割

- ▶ 自らの組織に特有の使命を果たす
- ▶ 仕事を通じて働く人たちを生かす
- ▶ 社会貢献（社会から求められるものを提供する）

## 総合支援センター（仮）の設置



## 自らの組織に特有の使命を果たす

- ▶ 不安のない連携と相談しやすい相談室（機能分化と連携）

### 総合支援センターの設置

いわて中部ネットの有効活用

- ▶ 安全に向けた弛まぬ努力（医療安全）

医療安全に向けた組織の見直し

医療事故調査システムの見直し

医療安全文化の醸成

## 仕事を通じて働く人たちを生かす

### 職員の笑顔は患者さんの笑顔につながる

- ▶ 働き方改革への対応

- ▶ 職場環境の改善

- ▶ 対話文化の醸成

# 社会貢献

## ▶ 診療やケア以外の活動

- 施設へのケアの支援
- いわて中部ネットによる施設への情報提供
- 進学・進路の支援
- オープンホスピタルの開催
- 予防活動
- 住民を対象とした講演会や研修会の開催
- 地域懇談会の開催

## 「経済財政運営と改革の基本方針2018—少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現—」

- ▶ 2019年10月の消費増税に合わせて、介護職員のさらなる待遇改善を行う
- ▶ 市町村と都道府県が連携し、健康づくりを推進せよ
- ▶ 公立・公的病院の再編統合、病床のダウンサイジング進め、地域医療構想を実現せよ
- ▶ ADL改善などアウトカムに基づく診療報酬や、AI活用したケアプランなど導入せよ
- ▶ 外来における「受診時定額負担」、薬剤自己負担割合の見直しなど改めて検討せよ

## 「経済財政運営と改革の基本方針2018—少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現—」

- ▶ 2019年10月の消費増税に合わせて、介護職員のさらなる待遇改善を行う
- ▶ 市町村と都道府県が連携し、健康づくりを推進せよ
- ▶ 公立・公的病院の再編統合、病床のダウンサイジング進め、地域医療構想を実現せよ
- ▶ ADL改善などアウトカムに基づく診療報酬や、AI活用したケアプランなど導入せよ
- ▶ 外来における「受診時定額負担」、薬剤自己負担割合の見直しなど改めて検討せよ

## 市町村と都道府県が連携し、健康づくりを推進せよ

- ▶ 生活習慣病等・慢性腎臓病・認知症の予防
- ▶ がん対策
- ▶ データヘルス
- ▶ 認知症対策
- ▶ 介護予防、フレイル対策
- ▶ アレルギー疾患対策
- ▶ 人生の節目で「人生の最終段階における医療・ケアの在り方」などを本人・家族・医療者等が十分話し合うプロセスの全国展開⇒ACP
- ▶ 「住み慣れた場所での在宅看取り」を推進する

公立・公的病院の再編統合、病床のダウンサイジング進め、地域医療構想を実現せよ

- ▷ 地域医療構想の実現
- ▷ 公立・公的医療機関について、「地域の民間医療機関で担うことができない高度急性期・急性期医療や不採算部門、過疎地等の医療提供等に重点化する」よう医療機能を見直し、これを達成するための再編・統合の議論を進める

## 地域包括ケアシステム構築への協働

